



# 学 校 短 信

2024年(令和6年) 2月28日  
大和市立南林間中学校 477号

## 自己を生かそう

2月 社会性

社会人としてのマナー、社会人としての義務・責任について学び、社会での自分の役割を果たせるようになるろう。

### ことば 言葉



校長 四ノ宮 和仁

今日、2月19日は二十四節季の「雨水」です。今までだったら雪だったものが春の暖かきで雨になる時期という意味です。この「二十四節季」には思いがあります。折角四季があり季節感を大切にしてきたこの国で、これからもこの文化を大切にしたいと授業で覚えさせていた時期がありました。春を2週間ずつ区切ると「立春・雨水・啓蟄・春分・清明・穀雨」となります。字面を見ているだけでも春が深まっていく感じが感じられます。今年は例年以上に春の深まりは早いようです。地域・保護者の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。きっと素敵な春を満喫されていることでしょう。

「月日は百代の過客にして、行かふ年もまた旅人なり〜」ということで早いもので令和6年も春3月を迎えました。春は別れと出会いの季節です。学校は特に春を新学期としているので、「別れ」と「出会い」を強く感じるのだと思います。そんな季節を私は何回となく過ごしてきました。特に担任時代どのように過ごしてきたかを思い返そうと思います。

この季節ですから、卒業式から思い出していきましょう。今も本校の体育館に向かう廊下に在校生や先生方から卒業生に贈る言葉が桜の花びらに記されています。(PTAの方が作ってくださいました)私は卒業生に何か書くものをせがまれると必ず「やさしい人を求めるより 優しい人になりなさい」と書きます。「どんな人が好きなの〜?」の問いに「優しい人」と答える人は多いと思います。しかし優しい人を求める前に自分が優しい人になっていれば自然と優しい人が自分の周りを囲むようになる。そういう人になってほしいという私の願いです。さらに平仮名と漢字の違いは、漢字には意味が込められています。平仮名は音だけを表します。思いや考えを持っている優しい人の方がいいとの意味も込めています。

「おめでとう」も「御芽出度う」と書きます。「目」より「芽」が出た方が将来を感じるからです。次は入学式です。式が終わり教室に移動します。初めて入る教室です。教室にあるのはクラス全員の名前を書き記した巻紙と「姿勢」の文字のみです。「姿勢」は生徒たちがよく目にするだろうと思われる時計の横に筆で書いたものを貼りました。「姿勢」は背筋を伸ばしてという意味もありますが、それだけではないのです。「姿勢」は「すがた」の「いきおい」と書きます。物事にはそれに向けた相応しい姿があります。速く走るときはそれにふさわしい姿。歌うときにはそれにふさわしい姿。話を聞く時の姿。字を書く時の姿。勉強に取り組む姿。行事に取り組む姿。その時その時の相応しい姿勢を大切にしたいという担任の願いです。それ以外の掲示物は一切作りませんでした。生徒達の部屋なので私が飾り付けることはない。自分達で過ごしやすいうようにすればいいのです。

そして授業です。私は国語の教師です。初めての国語の時間ではノートの裏表紙に「言語は精神の器である」と1ページ分に大きく書いてもらいます。これは毎年の初めての国語の時間になるわけです。3年間で成長することが実感できます。言葉は心の入れ物だから、言葉とはその言葉の本来の意味だけでなく、その時言葉を発する人の心の状態や受け手の心の状態によって違ってきます。だからこそ言葉は生き物であり使いかたによっては誤解を生むことになるので注意して、心を込めて発することのできる人になってほしいという国語の教師からの願いです。

最後に「夢は夢に非ず」。この言葉は自分の「先生」としての基本姿勢だと思っています。この言葉を言えるからこそ「先を生きている」「先生」として生徒の前に立てるのだと思っています。生徒は当たり前ですが若いのです。

夢など持っていない者が大多数です。そのきっかけを作ってあげ、夢に向かうことの素晴らしさを教えてあげたいのです。夢に挫折することもあるでしょう。しかし、結果ではなくそこまでの真剣な己の姿、気持ちが大切なのであって、その過程を経験させたいのです。生徒達は素晴らしい力を持っています。一度興味や関心を抱けば自分で調べ探求していく力を持っているのです。夢はどんどん変わってもいいのです。その都度夢に向かう過程を経験できるのです。私はその夢に向かうきっかけづくりの手助けをしているのだと思っています。そのために「夢は夢のまま終わらせるものではない。叶えるものだ。」の言葉が必要だったのです。夢に向かう真剣な己の姿や気持ちのことを努力というのだと思います。言い換えると夢と努力は同義語であるということです。今の努力は、今目指している夢に繋がってはいないかもしれない。しかし必ずあなたの本当の夢に繋がっていること。だから努力を怠ってはいけないということを「先生」として伝えたかったのです。

いくつかの言葉にこだわってきましたが生徒に届いたでしょうか。伝え方が悪く伝わらなかったのではないかな。他の伝え方があったのではないかな。思い返すと反省の山ばかりが私の通った道にそびえたっているようです。

若い先生方にそのような反省はしてほしいとは思いますが、もしかすると「先生」という仕事はそんなものなのかもしれません。

地域の中の学校、保護者の方々から信頼を得られる学校の実現を目指して職員一同邁進してまいりますので来年度も引き続き宜しくお願い致します。目が指す方向を目指す。心が指す方向を志すと言います。ご家庭と学校が同じ方向を目指して子どもの教育を志せば、生徒達も充実した中学校生活が送れるものと信じております。夢は夢に非ず

## 卒業に寄せて

3学年主任 白石 篤

早いもので「よろしくお祈りします!!」と元気いっぱいにあいさつをした入学式から3年が経とうとしています。この3年間はコロナ禍で色々なことがこれまでと変わりました。様々な制限があり、思い切り発散できなかった場面もあったかもしれません。それでも「できることを全力で」取り組み、班やクラス、学年の仲間と乗り越えてきました。沢山の支えがあって、ほとんどの学校行事を経験することができました。

1年生では、秋に遠足に行きました。班ごとに作ったカレーやあつという間に終わったオリエンテーリング。初めての運動会や合唱コンクール。すべての行事が中学校で「初めて」でした。先輩たちの背中を見ながら一生懸命取り組みました。

2年生では自分たちが先輩となり、先輩としての言動を意識し、優しく後輩に接している場面に頼もしさを感じました。天候を気にしながら過ごしたキャンプ。緊張しながらも働くことの大切さを学んだ職場体験。日頃の学校生活や行事を経験し、ひとまわりもふたまわりも成長しました。

3年生ではやっとなら行けた修学旅行。運動会や合唱コンクールでは限られた時間の中で一生懸命練習に取り組み、クラスで団結しました。行事を重ねるごとにクラスの輪が深まっていくのを感じました。

中学校3年間、どのような取り組みにも「目標」をしっかり持つことなどたくさんのお話を伝えてきました。これからも「目標を持つこと」「感謝の気持ちを忘れないこと」「違いを認めること」を大切に過ごしてほしいと思います。

保護者の皆さま、3年間のご支援、ご協力ありがとうございました。職員一同、お子さまのさらなる活躍と幸せを心から願っています。ご卒業おめでとうございます。



# PTA 2 学年委員会 ～ 卒業生へ送るメッセージ ～

卒業生に送る、1・2年生と学校職員からのメッセージを、西棟一階（体育館出入口）に掲示しました。  
 学校生活や部活動でお世話になった在校生から3年生へ、卒業を祝して様々な思いを桜の花びらにしたためました。学校へお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。



## 3月の予定

- 4日 (月) 3年球技大会
- 6日 (水) 卒業式予行練習
- 12日 (火) 卒業証書授与式
- 13日 (水) 2年球技大会
- 13日 (水) 各種委員会
- 15日 (金) 1年車椅子バスケットボール体験
- 18日 (月) 1年認知症サポーター養成講座
- 19日 (火) 1年球技大会
- 21日 (木) 大掃除
- 25日 (月) 修了式・離任の会



## 自己を生かそう

### 3月 自己を生かそう 有終の美

自己の持てる力を最後まで発揮して、自己実現をはかろう。また、進級・進学・就職という出発に向けて準備しよう。